

研修報告

議会運営委員会

宮城県加美町議会の議会運営を視察研修



議会運営委員会は、去る10月17日、合併後の議会運営と議会の活性化の観点から、多くの取組事例を持っている、宮城県加美町議会の議会運営について研修してまいりましたので、報告させていただきます。

加美町は、平成15年4月1日に、中新田町、小野田町、宮崎町が合併し誕生いたしました。宮城県の西北部に位置し、東西に約32km、南北に約28km、面積は約461km²あり、宮城県内でも有数の面積を有しています。西部は奥羽山脈を隔てて山形県尾花沢市に、南部は宮城県色麻町に、北部から東部にかけて宮城県大崎市に接しています。

議会の概要ですが、
 ○ 条例定数 20人 任期は平成21年3月31日
 ○ 議会の構成 常任委員会数3委員会(総務建設常任委員会、教育民生常任委員会、産業経済常任委員会) 議会運営委員会、議会広報編集調査特別委員会の5つの組織となっている。
 ※合併時は在任特例(2年間)49名

議会運営等の概要ですが、議会運営委員会は、議長のサポート機能であり、常に円滑な議会運営ができるよう審議。

議会閉会中における各委員会の開催。(各委員会とも年12、13回開催)
 ・議会改革(一般質問の手法等)を旨とし、先進地視察研修の実施。
 開かれた議会の概要ですが、合併により町民と役場の距離が遠くなるのではと、議会開催中継を実施。議場にカメラ4台を設置し、町内64施設(役場、公民館等)を光ファイバ1で結び、モニターテレビで生放送しているほか、インターネット上でも生放送で放映している。また、昼間会社勤め等で議会放映を観られない人のために録画し、日曜日等でも観られるよう配慮している。

このほか、議会のホームページ上に「議員名簿」、「議会構成」、「会議録」等々掲載し、開かれた議会運営に努力している。これらの改革や改善は、今後の城里町の議会運営に大いに参考となる事案であり、議会が議会運営という点で結束することが大事であるということを実感した。研修となりました。



加美町の概要

人口	27,223人	(3月31日現在)
世帯数	7,867世帯	
面積	460.82km ²	
平成19年度一般会計当初予算	121億5百万円	

総務常任委員会

神奈川県湯河原町視察



総務常任委員会は、去る11月6日(火)、地方分権の時代を迎え、地方自治体においては、自己決定・自己責任

日11往復、コミュニティバスを運行しています。また、災害時の初期消火や救急活動に迅速に対応できるよう女性防火クラブを設立し、女性の立場からみた防災対策の充実強化を推進し、消防団等との連携を図りながら、災害に強いまちづくりに貢献しています。議会においては、定例会毎、審議した議案の各議員の賛否を議会だよりに掲載しており、開かれた議会運営を行っています。

これらの取り組みは、今後の本町のまちづくりに役立つと思いますので、参考にしていきたいと考えています。



湯河原町の概要

人口	27,152人
世帯数	10,815世帯
面積	40.99km ²
議員定数	18人【平成20年4月より16人】
委員会	総務文教・福祉常任委員会 環境・観光産業常任委員会 議会運営委員会 議会だより編集委員会 広域行政特別委員会 国内外親善都市推進特別委員会